

一陽会原田病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	血液透析患者において導入後 3 年以内の全死亡を予測する新規リスクモデルの構築
研究責任者	医療法人一陽会 原田病院 医局 腎臓内科 医師 大久保 愛子
他の研究機関および各施設の研究責任者	法人内
研究の目的	維持透析（HD）患者の死亡率は依然高く、心血管疾患の合併率も高い。HD 導入時に死亡のリスクが高い患者を識別することは、より適切な医療を提供するためにも重要である。近年 HD 患者を対象としたリスクモデルの報告がなされているが、心電図所見を含めた検討は過去にない ^{2,3)} 。本研究は、HD 患者の 3 年死亡において最も影響を与える臨床因子を調査し、3 年全死亡における新しいリスクモデルを構築することを目的とした。
調査データ 該当期間	研修対象期間: 2008 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日 研究機関: 2024 年 7 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日
対象となる患者さん	上記期間内に通院された維持透析患者さま
研究の方法 (使用する試料等)	2008 年 4 月から 2021 年 3 月に一陽会で HD 導入となった症例を対象とし、3 年以内の全死亡について調査する。HD 導入時の血液検査値（WBC、Hb、Plt、K、Mg、補正 Ca 値、TP、Alb、UA、CRP）と血圧、Body mass index、内服薬（降圧薬、抗血小板薬、抗凝固薬）、併存疾患（高血圧、二型糖尿病、脂質異常症）、既往歴（脳卒中、心不全、冠動脈疾患）、透析導入後 6 か月以内の定期心電図所見との関連について検討する。Cox 比例ハザードモデルを用いて 3 年死亡の危険因子を明らかとし、機械学習による予測モデルを用いてその妥当性を評価する。患者は匿名化し、ID を追跡できない状態で統計処理を施行する。
試料/情報の 他の研究機関への提供	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。また、上記に該当される患者さまで本研究に協力しかねるとお考えの方は、下記の連絡先までご連絡ください。研究への利用はいたしません。これによって、当法人内での診療において不利益となることは一切ございません。
お問い合わせ先	〒731-5131 広島市佐伯区海老山町 7 番 10 号 医療法人一陽会 原田病院 電話：082-923-5161(代表) 担当者：医師 大久保 愛子